

<h1>議事録</h1>		作成日	令和6年12月12日(木)
		作成者	総務部 総務課
会議名	第4回宮津市庁舎基本構想等検討委員会		
開催日時	令和6年12月12日(木) 19:00 ~ 21:00	開催場所	宮津市福祉教育総合プラザ 第1コミュニティルーム (ミップル3階)
出席委員	青山 公三：京都府立大学 名誉教授 杉岡 秀紀：福知山公立大学 准教授 大門 大朗：福知山公立大学 准教授 角 茂一：宮津市自治連合協議会 会長 黒岡 芳子：宮津市地域女性の会 会長 北尾 ひとみ：宮津市民生児童委員協議会 監事 山口 孝幸：宮津商工会議所 専務理事 笠井 裕代：特別養護老人ホーム天橋の郷 施設長 箕浦 龍一：立教大学特任教授		

内 容
<p>1 開 会</p> <p>2 市長あいさつ及び諮問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年3月に、基本構想としてミップルビルに市役所機能を集約することが望ましいとの答申をいただき、議会に報告をさせていただきました。 ・建物所有者、賃借者と現在前向きに協議に応じていただき進めている。 ・宮津市議会においても基本構想を具現化するための基本計画策定の予算を可決いただいた。 ・本日は庁舎のミップルビル集約プランに係る基本計画の策定に向け、皆様にご審議をいただきたく、諮問をさせていただきます。 <p>3 委員等紹介 各委員のご紹介（市事務局）</p> <p>4 報告事項</p> <p>(1) 答申後の取組み等 報告資料1により事務局説明</p> <p>(2) 阪急電鉄(株)及び(株)さとうとの協議状況 事務局説明</p> <p>(3) 宮津阪急ビルの建物情報 報告資料2により事務局説明</p> <p>(4) ミップル集約プランに対する要望等 報告資料3により事務局説明</p> <p>【報告に対する意見質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所は、市民が価値を生み出したり、交流が生まれる場所と考えたとき、あまり最初の時点でスペースを作ってしまうのではなく、将来の応用の可能性や可変性を意識したデザインを考えていく必要がある。 ・単なる庁舎移転ではなく、道の駅を含めたこの地域の活性化を念頭に考えていく必要があると思う。 →（ウォーターフロント活性化の取組について、事務局から説明） ・議場や委員会室などは、議会と市役所の両方の機能がお互いに使えるような形でや

った方が良い。

- ・人の歩いて回る動線を生み出さないと市街地は活性化していかない。その中で自転車が大事なツールになると思う。
- ・職員から駐車場の過不足に関する意見は出たのか？
→職員は立体駐車場や各自で借りた駐車場に停めている。移転をすること自体で駐車場が急に足らなくなることはないと思っている。
- ・衣料品売り場がなくなるのは切実な問題であるので、販売されているものが縮小されない形で、どこかに売り場を持ってほしい。また、雨や雪のことがありなので、自転車置き場のことも配慮していただきたい。

5 協議検討

(1) 基本的コンセプトの深掘り、整備プラン作成に向けての方向性の検討

- ・各階配置機能
- ・各階ゾーニング方針
- ・ビルへのアプローチとビル内の導線

07 協議資料により事務局（コンサルタント会社）説明

【委員意見】

- ・市民の方が来られる窓口部門を集約させた方が良い。管理部門などは市民と直接的にはあまり関係ない。
- ・事業部門、窓口部門、管理部門の適正なあるべき姿から逆算して配置は決めるべき。
- ・窓口部門が充実しているのが一番大事だろうと思う。
- ・コンセプトがあると配置のあり方についても議論をしやすくなると思う。
- ・全部行政で管理する発想でなく市民が使い勝手のいいように考えて、民間の力を借りながら、カフェ的な市民の皆さんが気軽に来てたまり場になるような仕掛けがあれば良い。
- ・新たなセクションが必要になると他の施設の空きスペースを借りて対応することがあるかもしれない。まち全体の機能を考えていく必要がある。
- ・コンセプトを考えるのは非常に重要なポイント
- ・ウォーターフロントエリアの開発とうまくマッチングしていくのはすごく大事。
- ・配置についてはC案が良いが、コストはどれくらい高くなるのか。
→構造的な改修もほとんどなく、パーティション、什器、棚、机、いす等なので、数百万、高くても数千万程度でないかと考えている。
- ・どう住民の方に使いやすいものにするのか、外部の方に宮津の顔がどう見えるのかっていうところから考えていければ良い。
- ・利用したことがあるが、子どもの部分が全部4階にあるといいと思っている。
- ・路線の配置や海側から入りやすくなるような工夫も議論していく必要があるのでは。
- ・今ある機能を全部どこかに移し、分散してしまおうというのではなく、できるだけ動かす量を減らし、今4階にある機能のうち非常に目的性が高いエリアはそのままにするという考えもあるのでは。
- ・市役所のスペースはリモートの活用やペーパーレスも考慮し最小限にし、テナント

スペースをより確保することが望ましい。

- 市の活性化を重点に考え、海の見えるロケーションを最大限に活用、発信していけるよう検討が必要。
- 市役所までの動線やアプローチも考えていただきたい。玄関先に横付けして雨に濡れないようにする機能はぜひ作っていただきたい。
- 行かなくても良い市役所も目指していただきたい。
- 職員の方にとっては、効率よく仕事できる職場環境をそろえていただきたい。
- 来庁者のプライバシーの配慮ということで、観光客がエスカレーターで5階まで上がっていくのはどうなんだろう。
- 費用のことは置いておいて、立体駐車場とミップルと連絡通路の設置ができれば雨に濡れずに済む。
- 現代のオフィス設計の中で、ABW (Activity Based Working) への対応は不可避。また、WEB ミーティングのためのスペース、新たな行政ニーズや突発事案などへの対応スペースを考慮すると、提案された3案はいずれも十分な広さとは言えないのでは。
- 車で移動することを前提にするのではなく、ループや徒歩、自転車など移動の足のことも含めて議論できるとさらに良い。
- 市街地だけでなく、サテライトオフィスもセットで考えないとバランスを取る機会を失うのではないか。
- ループや自転車のレンタルでは、それが通れる道をきちんと作るのが重要で、ネットワークされると北部の魅力はすごく上がるのでは。
- 観光の考え方で、集中しているものを分散させる政策がこれから重要になる。
- 憩いのエリアについて、稼げるエリアにしていただきたい。
- 庁舎移転計画を知らない市民が多いので、紙面で特集を組んで情報発信し、進捗をお知らせする中で情報を取り入れていただけたら良いと思う。

【委員長まとめ】

- いろんな意見が出たものを集約し、次回の委員会で、具体的に交流スペースがどんな風に使えるのか、どんな事例があるか等、階層やゾーニングのイメージをさらに詰めていただきたい。

6 その他

(今後の予定)

- 今回の意見を踏まえ、整備プラン案を作って委員会に諮る。
- 暫定のプランを一旦作成したところで委員長と調整させていただき、意見聴取回りをするステップでやらせていただきたい。
→全員了解

7 閉会